

3 死亡

(1) 死亡数・死亡率

平成 19 年の死亡数は、8,660 人で前年の 8,453 人より 207 人増加し、死亡率(人口千対)は 11.9 で前年の 11.5 より 0.4 上昇した。(図 4)

死亡率の年次推移をみると、戦後急速に低下していったが昭和 30 年代半ばから低下傾向が緩やかになり、昭和 63 年からは人口の高齢化に伴って再び上昇し始め、上昇の傾向をたどり続けた。年齢別に見ると、表 3 のとおりである。

表 3 年齢(5 歳階級)別死亡数・死亡率(人口 10 万対)・死亡率性比

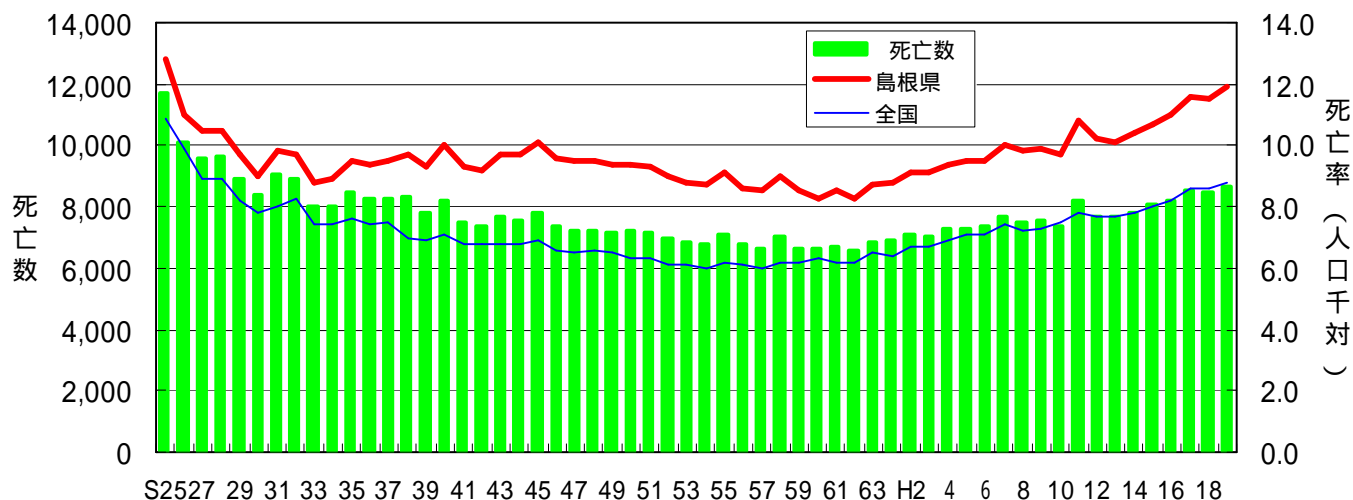
年齢階級	死亡数			死亡率			死亡率性比
	平成 19 年	平成 18 年	対前年増減	平成 19 年	平成 18 年	対前年増減	
総数	8,660	8,453	207	1,192.8	1,154.8	38.0	120.0
0～4	19	20	1	65.5	66.7	1.2	128.3
5～9	8	3	5	25.0	9.1	15.9	282.3
10～14	2	5	3	6.1	14.3	8.2	・
15～19	20	6	14	55.6	16.2	39.4	283.3
20～24	15	21	6	45.5	65.6	20.1	1,317.6
25～29	19	21	2	52.8	55.3	2.5	216.7
30～34	35	28	7	79.6	63.6	16.0	191.7
35～39	28	35	7	68.3	85.4	17.1	629.9
40～44	58	47	11	152.6	123.7	28.9	241.2
45～49	85	103	18	197.7	234.1	36.4	269.6
50～54	147	172	25	300.0	337.3	37.3	198.0
55～59	309	331	22	490.5	501.5	11.0	255.3
60～64	331	314	17	689.6	713.6	24.0	271.1
65～69	416	417	1	945.5	926.7	18.8	282.6
70～74	792	791	1	1,616.3	1,582.0	34.3	251.1
75～79	1,246	1,209	37	2,708.7	2,686.7	22.0	251.4
80～	5,130	4,930	200	7,656.7	7,703.1	46.4	148.2

注 (1): 死亡率性比 = 男性の死亡率 / 女性の死亡率 × 100

(2) 総数には年齢不詳を含む。

(3): 年齢階級 10 歳～14 歳は女性の死亡者がいなかったため、死亡率性比については計上していない。

図4 死亡数・死亡率の年次推移



(2) 死因

死因順位

平成19年の死亡数を死因順位別に見ると、第1位は悪性新生物で2,513人（人口10万対死亡率346.1）、第2位は心疾患で1,342人（死亡率184.8）、第3位は脳血管疾患で984人（死亡率135.5）となっている。（表4）

主な死因の年次推移を見ると、悪性新生物は年々徐々に上昇し、昭和59年には脳血管疾患を抜いて死亡原因の第1位になり現在に至っている。脳血管疾患の死亡率は低下傾向にあり、平成12年から第3位に下がった。不慮の事故、老衰、自殺については横ばいになっている。（図5）

図5 主要死因の死亡率の年次推移

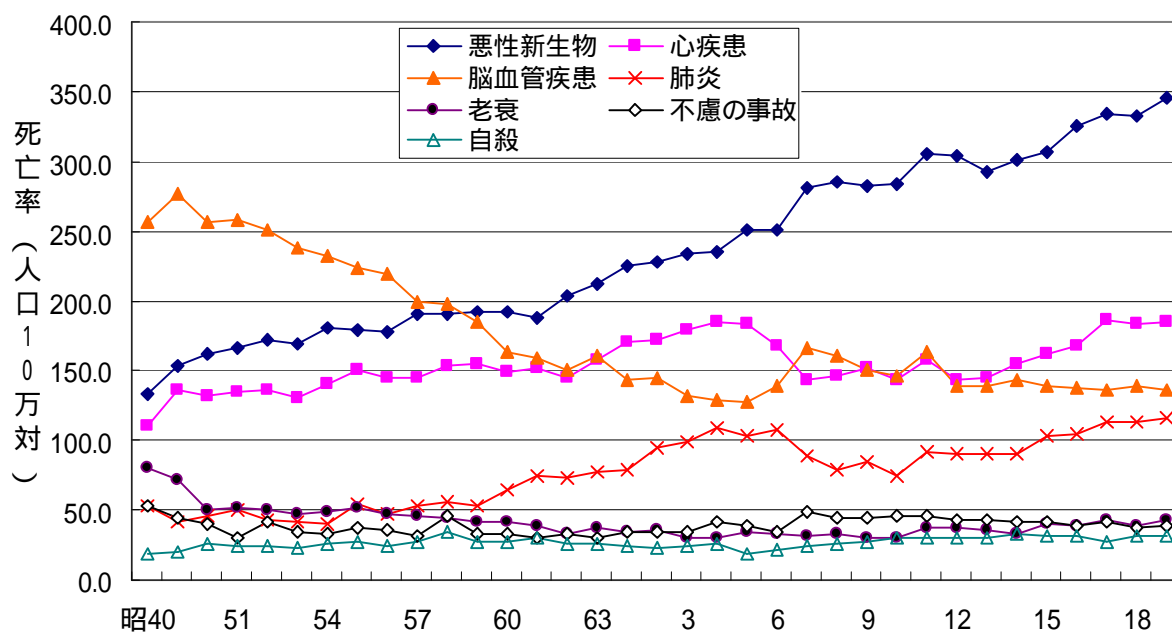


表4 死亡数・死亡率(人口10万対)・死因順位;性別

死 因	平成19年									平成18年		
	総数			男性			女性			総数		
	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率
悪性新生物	1	2,513	346.1	1	1,509	436.1	1	1,004	264.2	1	2440	333.3
心疾患(高血圧性を除く)	2	1,342	184.8	2	600	173.4	2	742	195.3	2	1342	183.3
脳血管疾患	3	984	135.5	4	443	128.0	3	541	142.4	3	1019	139.2
肺炎	4	845	116.4	3	454	131.2	4	391	102.9	4	833	113.8
その他の呼吸器系の疾患	5	340	46.8	5	198	57.2	6	142	37.4	5	329	45.0
老衰	6	312	43.0	10	70	20.2	5	242	63.7	6	285	38.9
不慮の事故	7	280	38.6	6	182	52.6	8	98	25.8	7	271	37.0
自殺	8	233	32.1	7	168	48.6	10	65	17.1	8	232	31.7
腎不全	9	184	25.3	9	84	24.3	7	100	26.3	9	163	22.3
その他の消化器系の疾患	10	150	20.7	12	64	18.5	9	86	22.6	10	148	20.2

注:男性の8位は「慢性閉塞性肺疾患」で死亡数101・死亡率29.2である。

男性の11位は「肝疾患」で死亡数68・死亡率19.7である。

年齢別死因

平成19年の死因を性・年齢(5歳階級)別構成割合から見ると、年齢が高くなるに従って悪性新生物の占める割合が高くなっており、70歳代頃からは、心疾患、脳血管疾患、肺炎の割合が次第に高くなっている(図6)。

図6-1 性・年齢(5歳階級)別に見た主な死因の構成割合(男性)

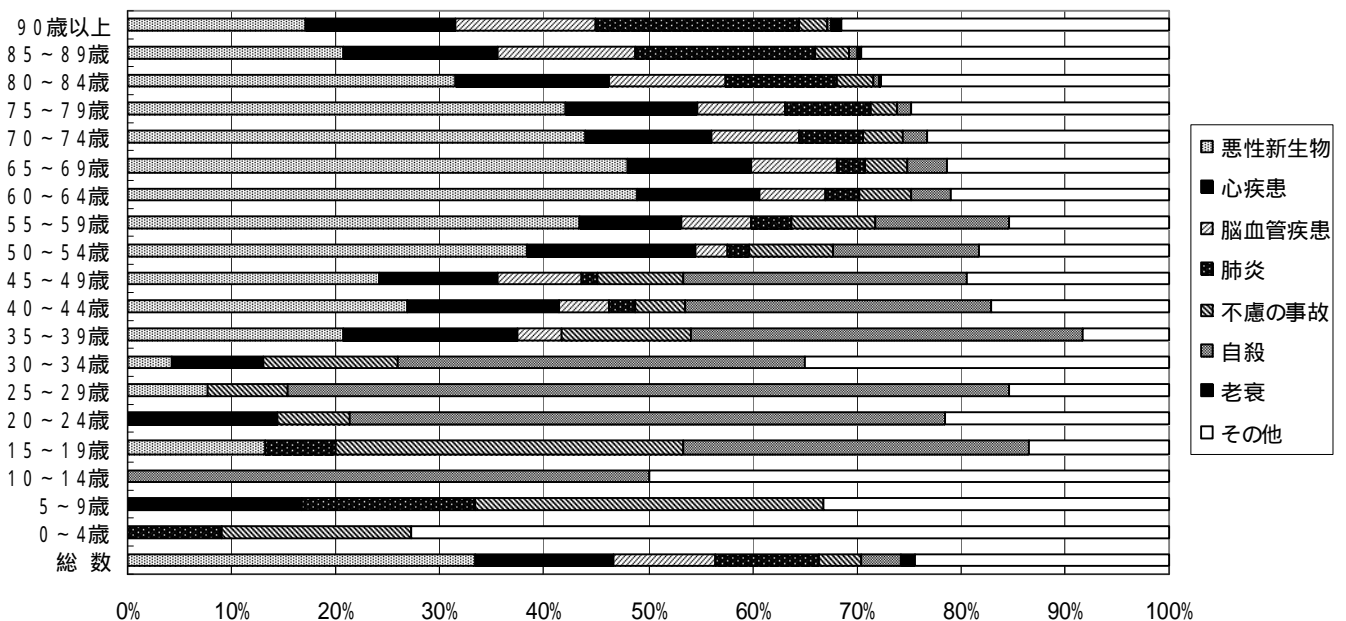
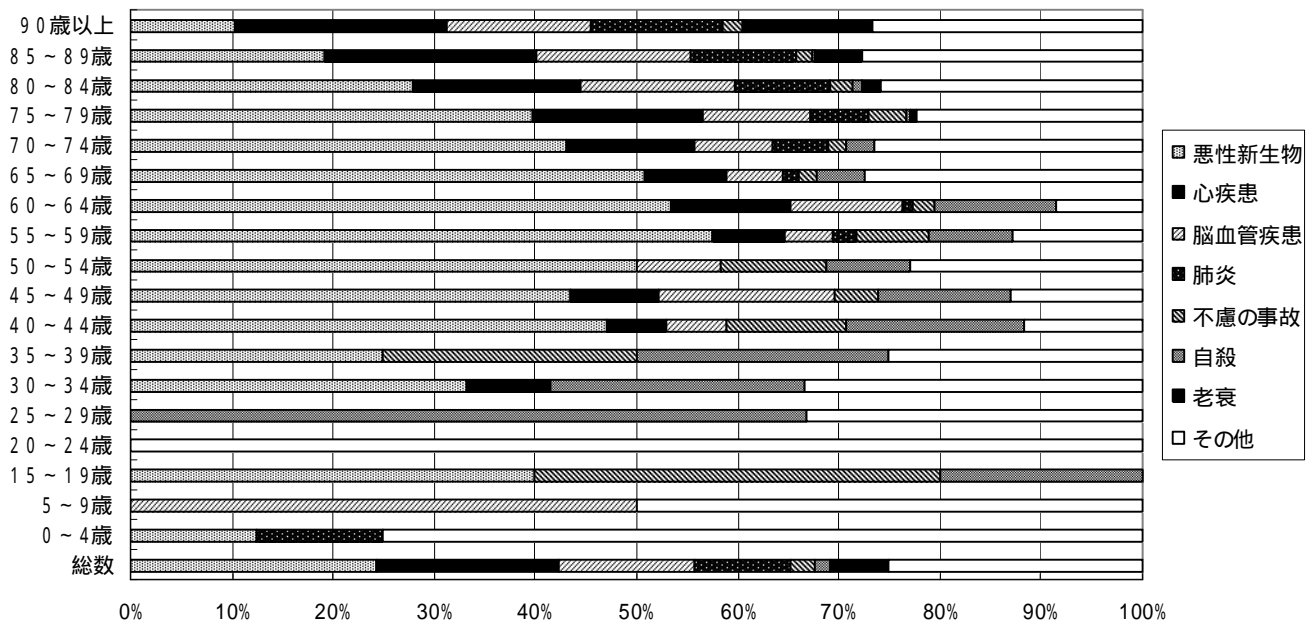


図6 - 2 性・年齢(5歳階級)別に見た主な死因の構成割合(女性)



注：年齢階級 10 歳～14 歳は、死亡者がいなかったため、省略した。

部位別に見た悪性新生物

悪性新生物について死亡数、死亡率を主な部位別に見ると、男性については胃、肺及び肝が上昇し、大腸が下降している。女性については、胃、肝及び子宮が上昇し、肺、乳房及び大腸が下降した(表5)。

表5 悪性新生物の主な部位別死亡数・死亡率(人口10万対)の年次推移

部位	S30	40	50	60	H8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
	死亡数															
【男性】																
胃	250	314	293	273	263	251	255	252	267	216	243	230	233	230	206	250
肺	19	61	82	169	250	281	273	292	299	272	288	282	341	363	316	358
肝	54	55	65	121	206	179	194	182	208	182	164	181	179	191	173	174
大腸*	23	42	48	79	151	128	155	175	163	138	142	155	139	164	160	136
【女性】																
胃	165	179	202	149	159	151	134	138	137	145	153	153	150	152	125	149
肺	8	18	32	52	109	94	90	93	98	110	112	91	91	107	124	113
肝	37	33	35	55	89	94	80	93	99	85	100	76	96	90	80	89
乳房	18	16	25	28	38	48	38	54	43	55	53	56	74	54	71	69
子宮	93	71	57	40	38	35	27	34	25	24	31	31	26	21	31	33
大腸*	30	44	48	85	123	114	124	133	125	129	125	150	139	150	165	146
	死亡率															
【男性】																
胃	54.7	79.8	80.0	71.7	71.7	68.6	70.1	69.4	73.7	59.7	67.5	64.2	65.4	65.2	59.0	72.3
肺	4.2	15.5	22.4	44.4	68.1	76.8	75.0	80.4	82.6	75.1	80.0	78.8	95.8	102.8	90.5	103.5
肝	11.8	14.0	17.7	31.8	56.1	48.9	53.3	50.1	57.4	50.3	45.6	50.6	50.3	54.1	49.6	50.3
大腸*	5.0	10.7	13.1	20.7	41.1	35.0	42.6	48.2	45.0	38.1	39.4	43.3	39.0	46.5	45.8	39.3
【女性】																
胃	34.9	41.8	50.4	35.8	39.8	37.8	33.7	34.8	34.7	36.8	38.9	39.1	38.6	39.3	32.6	39.2
肺	1.7	4.2	8.0	12.5	27.3	23.6	22.6	23.4	24.8	27.9	28.5	23.3	23.4	27.6	32.4	29.7
肝	7.8	7.7	8.7	13.2	22.3	23.6	22.6	23.4	25.1	21.6	25.4	19.4	24.7	23.3	20.9	23.4
乳房	3.8	3.7	6.2	6.7	9.5	12.0	9.5	13.6	10.9	14.0	13.5	14.3	19.0	14.0	18.5	18.2
子宮	19.7	16.6	14.2	9.6	9.5	8.8	6.8	8.6	6.3	6.1	7.9	7.9	6.7	5.4	8.1	8.7
大腸*	6.4	10.3	12.0	20.4	30.8	28.6	31.2	33.5	31.7	32.7	31.8	38.4	35.7	38.8	43.1	38.4

注:大腸の悪性新生物は、結腸と直腸S状結腸移行部及び直腸を示す。

ただし、昭和40年は十二指腸と小腸を含み、昭和50年は肛門を含む。

図 7 - 1 悪性新生物の主な部位別死亡率(人口 10 万対)の年次推移(男性)

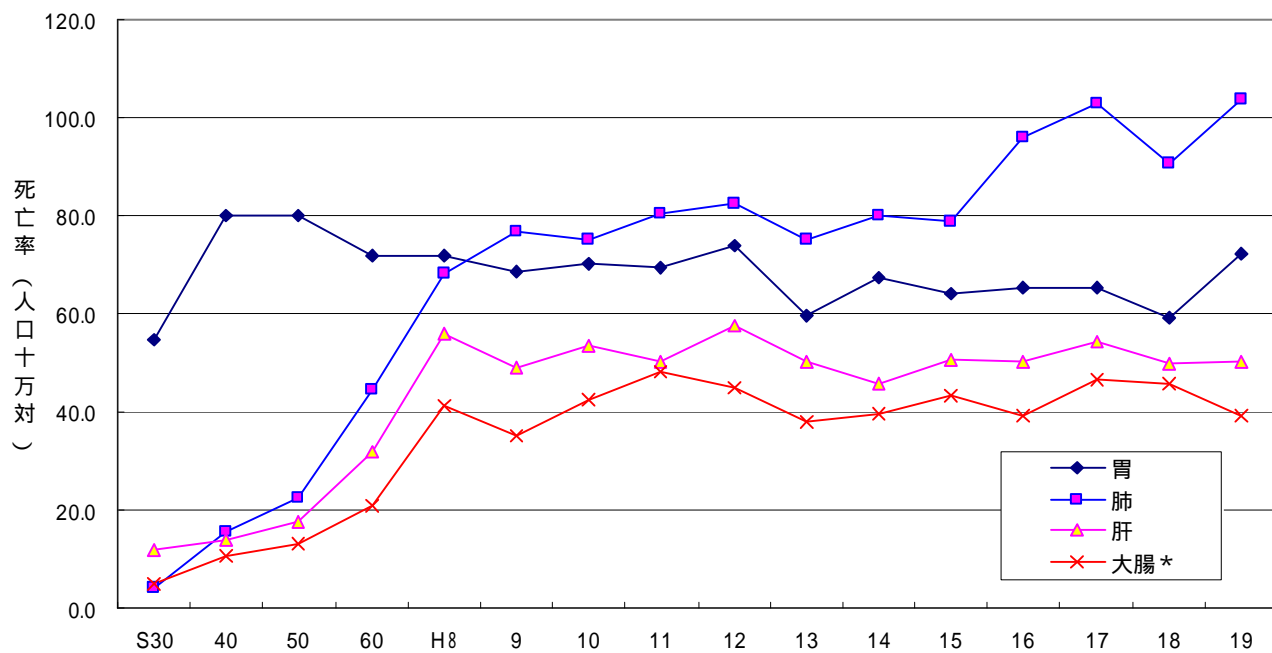


図 7 - 2 悪性新生物の主な部位別死亡率(人口 10 万対)の年次推移(女性)

